

## 平成28年9月10日（土）久慈市災害支援ボランティア活動報告

久慈市災害ボランティアセンターからの要請を受け、弘前市のバス運行協力のもと9月10日（土）「チーム・オール弘前」は6時30分に参加者の教員2名、学生16名（内3名は現地集合）、市民27名の計47名で出発した。

9時30分には久慈市社会福祉協議会に到着し、久慈市災害ボランティアセンターから個人宅3件と鮮魚店1件での活動の割り当てがあったため、4つのチームをつくり各所へ移動し、泥出しや家財道具の運び出し、清掃などの作業を10時から開始した。

引率の李副センター長が参加したチームは、89歳の女性が一人で暮らしているお宅で、リビングにある浸水したソファや棚などの家具、オーディオ、ピアノなどを運び出す作業から開始した。続いて屋内の壁、床、屋外壁の清掃作業を行った。廃棄物の量が多く、運び出しに時間がかかったこともあり、廃棄物の回収時間に間に合わなかったものもあった。

畳張りの部屋は泥水の染み込んだ畳を上げると床板が波打ち、踏むと穴があいてしまう状態になっていたため床板を撤去し、下の泥を除き、石灰を散布した。工務店では床板用の資材も人工も不足していて、修理の予定がたてられない状態だという。

その他の部屋は5回、6回と拭き上げを繰り返し、作業前は長靴を履いたままでなければ危険な状態であった屋内の床は、なんとか靴を脱いで入ることができる状態に回復した。また、外壁もブラシを使っての拭き上げで清掃し、撤収時には依頼主のお婆さんとボランティアが笑顔で記念写真を撮れる状態になった。また、作業中は危険なため屋外の椅子でお待ちいただいたお婆さんが、外壁の清掃作業している学生と笑顔で会話をしており、楽しそうな話し声に心温まる思いがした。

昼食の場所を探し歩いていたら、近所のガソリンスタンドのスタッフさんがガソリンスタンド裏の集会所に、椅子などを用意して下さり快適に食事をする事ができた。住民の皆さんの心温かいもてなしに感謝している。

15時までの活動を終え、全員無事に予定通り19時には弘前へ無事帰着した。

今後の活動については調整中である。













